

11日 火曜

出エジプト



15:22 モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩いた。彼らには水が見つからなかった。

15:23 彼らはマラに來たが、マラの水は苦くて飲むことができなかった。それで、そこはマラと呼ばれた。

15:24 民はモーセにつぶやいて、「私たちは何を飲んだらよいのですか。」と言った。

15:25 モーセは主に叫んだ。すると、主は彼に一本の木を示されたので、モーセはそれを水に投げ入れた。すると、水は甘くなった。その所で主は彼に、おきてと定めを授け、その所で彼を試みられた。

15:26 そして、仰せられた。「もし、あなたがあなたの神、主の聲に確かに聞き従い、主が正しいと見られることを行ない、またその命令に耳を傾け、そのおきてをことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上になささない。わたしは主、あなたをいやす者である。」

15:27 こうして彼らはエリムに着いた。そこには、十二の水の泉と七十本のなつめやしの木があった。そこで、彼らはその水のほとりに宿営した。

エジプトから救い出されたイスラエルの民でしたが、さっそく水の問題に直面しました。このつぶさきとは、不平を表すことばです。それは依頼心と批判からくる思いでしょう。教会の問題などに際しても、信仰から来る問題解決と、つぶさきとは違うので、気をつける必要があります。

モーセは指導者として、神様に祈り、神様から答えをもらいました。信仰で人を導くのは、自分の経験や知識によるのではなく、祈りとみこころによる

のです。

26節には神様からの約束があります。それは私たちの人生にとっても同じです。この約束を肝に銘じましょう。従う者には、最後には神様の守りがあるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

